

ビ

ビジネス環境の変化に柔軟に対応する 「NetApp FAS3100シリーズ」を提供開始 ～データ処理を高速化させるアクセラレータ製品群を発表～

- ネットアップは、ユニファイド・ストレージ「NetApp FASシステム」の中核を担うミドルレンジ・ストレージの新製品群「FAS3100シリーズ」の提供を開始した。また、ストレージシステムのデータ処理を高速化させるアクセラレータ製品である「Storage Acceleration Appliance」と「Performance Acceleration Module」を発表した。

ストレージ容量の拡張性を 最大で1.5倍以上に拡大

ネットアップは、同社のユニファイド・ストレージ(*1)「NetApp FASシステム」の中核を担うミドルレンジ・ストレージの新製品群「FAS3100シリーズ」の販売を開始した。FAS3100シリーズは、従来の「FAS3000シリーズ」の後継となる製品で、ストレージ容量が最大420TBの「FAS3140」と、最大840TBの「FAS3170」の2種類で構成されている。従来製品とほぼ同等の価格帯を維持したまま、ストレージ容量の拡張性を最大で1.5倍以上に拡大し、データ処理性能などの基本性能が大幅に向上されており、さらなる低コストで柔軟性と信頼性に優れた情報管理基盤を構築することが可能な製品である。

FAS3100シリーズは、FAS3000シリーズと比較して、コントローラ用のメモリを最大で2倍とし、I/O拡張ポート数も6ポートから最大8ポートに増強するなど、データ転送速度や処理性能が向上している。さ

らにFAS3100シリーズは、他のFASシリーズと同様に、高性能なFC (Fibre Channel) ディスクと、低コストで大容量が実現できるSATA (Serial ATA) ディスクを混在可能なモジュール型ストレージシステムで、FAS3170ではユーザーの用途や環境に応じて最大840TBまで拡張することが可能に。これに

より、効率的なストレージ統合や、重要なアプリケーションやシステムのデータ資産の保護をさらに低コストで実現することができるようになった。

今回販売を開始したFAS3170とFAS3140は、ストレージ専用OS「Data ONTAP」を搭載しており、ネットアップ製品間の互換性を備え



写真1 FAS3140×3キャビネット

ている。これにより、従来製品やFAS200シリーズからのアップグレードや、FAS6000へのアップグレードを簡単に行えるので、ビジネス環境の変化や成長に合わせた柔軟なシステム構築が可能に。また、Data ONTAPに標準搭載されている、ネットアップ独自の技術に基づくSnapshotや重複排除機能を活用することで、バックアップ時間の短縮とストレージ容量の節約が可能になった。さらに、Data ONTAPに組み込まれている「FlexVol」の技術により、仮想化されたストレージ容量を柔軟に拡大・縮小させることができるので、システムのスペース効率を向上させ、余剰なストレージ容量を少なくすることで、運用に伴う消費電力、発熱量を削減することができる。

内部統制環境の整備やコンプライアンス対応など保護する必要のあるデータが増大している一方で、コスト削減や環境保護に配慮したグリーンIT化など、データ保護に対する企業のIT部門への要件は厳しさを増すばかりである。ネットアップは、

容量および機能拡張と性能向上を実現したFAS3100シリーズとネットアップが提供する多様なデータ管理ソフトウェア製品との組み合わせにより、安定性および信頼性に優れた情報管理基盤を提供していく。

*1 ユニファイド・ストレージ：ファイルアクセスとブロックアクセスの2つの形態を同時に利用でき、UNIX、Linux、Windowsが混在している環境でも全てのデータを単一のストレージ・インフラで管理することができる。

HPC環境に最適な 2種類のオプション製品

またネットアップは、HPC（ハイパフォーマンスコンピューティング）など大量のデータ処理が求められる環境において、ストレージシステムのデータ処理を高速化させるアクセラレータ製品「Storage Acceleration Appliance」と、キャッシュの追加によりディスクドライブの読み取り時間による遅延を最小限にするアクセラレータ製品「Performance Acceleration Module」を発表した。

Storage Acceleration Applianceは、ネットアップの「FlexCache」テクノロジーを基盤としたNFS専

用キャッシュアプライアンス製品である。ネットアップが提供するストレージシステム「FASシリーズ」と組み合わせて使用することで、多拠点で情報を共有する環境などにおいて、データアクセスのレスポンスタイムを向上させるとともに、ストレージシステムにかかる負荷を低減して、システムリソースの最適化を可能にする製品である。

一方、Performance Acceleration Moduleは、16GB（4GBx4）のメモリを搭載したデータキャッシング・モジュールで、FASシリーズやStorage Acceleration ApplianceのI/O拡張スロットに挿入して使用する。データベースを使用したオンライントランザクションやファイルサービスなど、ランダムなトランザクション処理が中心の環境において、ディスクドライブへのアクセスによる読み取り処理の遅延を最小限に抑え、データ処理の性能を向上させることができる製品である。

両製品ともに、特に科学技術計算や研究・開発環境など、計算負荷の高いデータ処理が必要とされるHPC環境に最適なオプション製品である。Storage Acceleration Applianceは、2008年6月から提供を開始。Performance Acceleration Moduleは、2008年8月から提供を開始する予定である。

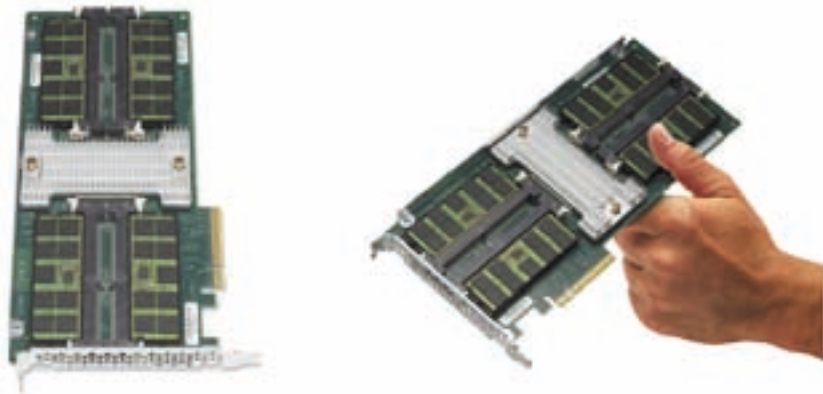


写真2 NetApp Performance Acceleration Module

● お問い合わせ先 ●

ネットアップ(株)

TEL：03-5404-1200

E-mail：pr-contact@netapp.co.jp